



YouTube

磐田市公式チャンネル「磐田 TV」



まちの話題

9月24日 東海ビーチサッカーリーグ最終戦 豪快なシュートを披露



▲間近で見るオーバーヘッドキックは迫力満点

磐田市に本拠地を置くビーチサッカーチーム・クラブアレイアが、福田漁港交流広場「ふくっば」で東海サッカーリーグの最終戦を行いました。首位のヴィアティン三重BSと対戦したアレイアは、惜しくも3-4で敗れたものの、2位でシーズンを終了しました。試合後は、小学生を対象としたクリニックが行われ、パス練習やミニゲームのほか、華麗な技や豪快なシュートを披露し、子どもたちを喜ばせました。

9月17日 出張まちの保健室 健康を身近に意識できる場所を提供



▲血管年齢を測定している様子

各地区の交流センターで行うことが多い「まちの保健室」を多くの方に知ってもらおうと、(株)杏林堂薬局とポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)の協力のもと「出張！まちの保健室 in 杏林堂薬局 西貝塚店」が開催されました。

当日は日曜日ということもあり、多くの買い物客が訪れ、乳幼児の身長・体重の計測、骨密度、血管年齢の測定などを行いました。

8月31日 竜洋東保育園園庭芝生開き 芝生って気持ちいいね



▲はだしになって芝生の上ではしゃぐ園児たち

竜洋東保育園では、約2カ月の養生期間を経て園庭の芝生化を進めてきました。芝生には、2002年サッカーワールドカップのキャンプ地であるゆめりあ球技場グラウンドの廃棄芝が再利用されています。

園児85人は、芝生の上で寝転んだり、しゃべいダンスを踊ったり、スプリンクラーやシャワーホースを使って水遊びをしながらはだして駆け回ったりして、芝生の感触を楽しみました。

9月20日 向笠幼稚園クリ拾い体験 おいしそうなクリがいっぱい採れたよ



▲とげに注意しながらクリを拾う園児たち

向笠幼稚園の園児約50人が地元の方のご厚意で、クリ拾い体験を行いました。

年長児は足を使って慣れた様子でクリを拾ったり、ペアを組む年少児に拾い方を教えたりしながらクリ拾いを楽しみました。園児らは「いっぱい採れたよ」「楽しかった」「栗ご飯が食べたい」と楽しそうに話しました。拾ったクリは自宅に持ち帰ったり、園でゆでて食べたりする予定です。



9月16日 イクメン応援講座 パパの楽楽子育てを見つけよう



▲お父さんとふれあい遊びで楽しみました

イクメン応援講座は、平成27年度ヤング草莽塾の提案で、高校生の「子育てする父親を応援したい」という思いから企画された講座です。

先輩パパから「子育て体験談」を聞いた後、歯科衛生士から歯磨きのコツを学んだり、ふれあい遊びをしたりしました。パパ仲間との子育て情報交換会では、仕事と育児の両立方法や子育ての楽しさなどについて話し合いました。

9月12日 道路・河川愛護優良団体表彰受賞報告 日頃の活動に感謝



▲前列左から向笠新屋自治会、大平・万瀬1号線ビューティフルロード、天竜アダプト、J A遠州中央西貝支店の代表者の皆さん

道路・河川愛護活動に対する各種表彰を受賞された4団体の代表者が、報告のため市役所を訪れました。

中でも「大平・万瀬1号線ビューティフルロード」は、地域の主要道路である「市道万瀬大平線」延長約2kmの区間で、樹木の伐採や枝払い、路肩の草刈りなどの作業を行ったことが評価され、日本道路協会道路功労者表彰を県内で唯一受賞しました。

9月23日 ラン伴^{とも}2017 in いわた 北海道から沖縄まで^{なすき}繋ぐ



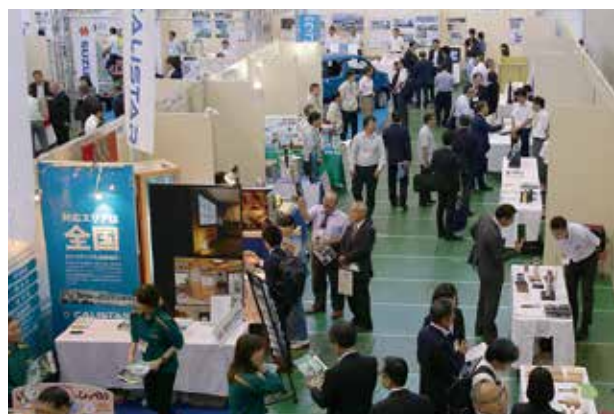
▲iプラザをスタートするランナーの皆さん

認知症の方やその家族、支援者、一般の方が少しずつフリーしながら北海道から沖縄まで一つの繋をつなぐ「ラン伴」が市内で開催されました。

iプラザをスタート・ゴールとして約10キロと約7キロの2コースを認知症に関心のある市民約50人が1区間5～10人のグループで繋をつなぎました。

またiプラザでは、小学生向けと大人向けの認知症サポーター養成講座が行われました。

9月29日・30日 第7回 産業振興フェア in いわた 磐田で新事業・新産業の創出につなげる



▲新産業創出のため異業種の方たちが交流しました

企業の交流の場、情報発信の場として、新事業・新産業の創出につなげる「第7回 産業振興フェア in いわた」がアミューズ豊田で開催され、180社の企業が出展しました。

会場では、先進的な次世代農業を紹介する「次世代農業セミナー」やものづくり現場でのIoT導入効果や活用事例を紹介する「IoTセミナー」も開催され、参加者は熱心に耳を傾けていました。